

特集

各種診療ガイドラインにみる 挙児希望女性の合併症・併存 疾患の取り扱い —プレコンセプションから妊娠・出産まで—

企画者のことば

桑原慶充

近年、挙児希望年齢の高齢化やライフスタイルの変化により、妊娠・出産を希望する女性のなかに合併症・併存疾患を抱える人が増加しています。周産期における母子双方の健康を確保するためには、妊娠前から原疾患を厳格にコントロールすることが求められます。しかし、産婦人科医師があらゆる合併症について高い専門性をもつことは現実的ではありません。

現在、各領域の学会を中心として発刊されている診療ガイドラインには、プレコンセプションケアや妊産婦管理に関するクリニカルエスチョンが取り上げられています。これらのアウトラインを知ることは、挙児希望女性に対してファーストタッチを行う産婦人科医師が、他領域の専門医師と適切に連携するために有用です。しかし、多くの産婦人科医師は、日常診療

で馴染みの少ない他科疾患について、関連する診療ガイドラインが存在するのか、またプレコンセプションケアや母体管理についてのCQが設けられているのかを知る機会に乏しいものと考えられます。

そこで、本特集では、挙児希望女性に比較的多くみられる合併症について、他科領域の診療ガイドラインに記載されている関連のクリニカルエスチョンを網羅的に取り上げ、総論的な解説と併せて産婦人科医師が知っておくべき対応と留意点について、エキスパートの先生方に執筆していただきました。外来診療で手の届くところに置いて、一次施設から高次施設まで、明日からの診療に広くお役立っていただけますと幸いです。